



『人類に奉仕するロータリー』 Rotary Serving Humanity

RI会長 ジョン・ジャーム 第2590地区ガバナー 高良 明

川崎中原ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKAHARA R.C. WEEKLY/2016~2017

会長・戸張 裕康 幹事・都倉八重子 会場監督・江口 進 会報委員長・小泉 正博

事務所・〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス武蔵小杉 104

TEL.044-722-7282 FAX.044-722-0066 E-mail:info@nakahara-rc.com

◆例会場 ホテル精養軒 第1・第3木曜日 PM12:30~ 第2・第4木曜日 AM7:30~ TEL.044-711-8855

第1368回 (本年度6回)

平成28年8月18日(木)

点 鐘 戸張 裕康 会長

司 会 古越 孝男 会場監督

斉 唱 「我等の生業」
「それでこそロータリー」

会員出席報告 神谷 直 親睦委員

本日	会員数	出席	欠席	出席率
	26名	18名	8名	81.82%
前々回(7月28日)	欠席9名	Make up 3名		86.96%

欠席者：東出会員、今井会員、江口会員、高木会員

お客様紹介 戸張 裕康 会長

◆小塩 良一 様 (ゲストスピーカー)

ニコニコ報告 神谷 直 親睦委員

◆戸張 裕康 会長 都倉 八重子 幹事

本日は小塩様をお迎えしての卓話です。楽しみにしております。また、8月11日の「山の日」からお盆休みをゆっくりとることができ「お墓掃除」もきちんとしてきたので落ち着きました。

◆山田 一之 会員

終戦の日、8月15日に想う事。今は豊かで自由な日々、昭和ヒトケタの私達が伝えたいことは、遺言、遺産として「戦争」程の罪悪はないという事を知って下さい。これだけは語り部として残したい。

◆親睦委員会一同

皆さん、健康診断はしていますか？忙しい毎日とは思いますが、定期的にするのがいいと思います。私事ですが、先日の健康診断でポリープが見つかり、切除してもらいました。

◆SSA一同

小塩様、本日の卓話を楽しみにしています。

「みんなニコニコ」

若狭 滋則 会員・工藤 和弘 会員・徳安 久是 会員
市川 功一 会員・小泉 正博 会員・山本 剛 会員
高瀬 建夫 会員

ニコニコボックス	本日	12,000円	累計	121,000円
記念日ニコニコ	本日	5,000円	累計	15,000円

会長報告 戸張 裕康 会長 (8月25日)

1. 地区からの来信

①地区より、R財団100周年記念シンポジウム(国際人道支援の第1線で活躍するロータリー財団学友の報告)開催のご案内が届いております。
日時：2016年11月27日(日) 13:30-16:30
場所：東京JPタワー・KITTEビル 4F
※詳細につきましては案内状をご覧いただき、奮ってご参加ください。

②2016学年度米山カウンセラー研修会開催のご案内が届いております。
日時：2016年9月15日(木) 15:00-17:00
場所：メモワールプラザソシア 21
※鈴木カウンセラー、ご出席をお願い致します。

③地区大会記念「熊本地震・東日本大震災チャリティ会員・家族ディナーパーティ」のご案内とチラシが届いております。
日時：2016年10月5日(水) 18:00 開宴
場所：横浜ロイヤルパークホテル 宴会棟 3F「鳳翔」
参加費：20,000円

④地区大会記念「ポリオ撲滅チャリティゴルフ大会」開催のご案内が届いております。
日時：2016年10月18日(火) 8:00 スタート
場所：よみうりゴルフ倶楽部
参加費：11,000円 プレー費：20,520円
※各RCから4名以上のご参加をお願い致します
申込・送金締切：9月20日

2. 横浜東RACより、例会のご案内が届いております。
日時：2016年9月6日(火) 20:00-21:30
場所：ホテルキャメロットジャパン
内容：専門知識開発委員会「アカペラの良さを知ろう」登録料：3,000円

3. 他クラブ例会臨時変更

●川崎宮前RC

10月18日⇒16日(日) 移動例会

宮前区民祭バザー出店

4. 他クラブ会報の回覧 新川崎RC

5. 次週9月1日(木) 例会前11:00より、定例理事会を開催致します。
理事・役員各位のご出席をお願い致します。

卓話 小塩 良一 様

元横須賀RC会員

現タウンニュース宮前区編集室記者

こんにちは。ご紹介にあずかりましたタウンニュースの宮前区版を担当しております小塩と申します。よろしくお祈りいたします。本日は貴重な例会のお時間を私の話などに割いていただきありがとうございます。皆様にとって有意義なお話ができるかわかりませんが、精いっぱいお話しさせていただきますのでよろしくお願いいたします。何分あまり卓話は慣れておりませんので、時間配分もあまりわかっておらず、もし時間より早めに話し終わってしまった場合は、最後質問などをしていただければと思います。

ご紹介の中でもございましたが、私は平成19年9月から昨年6月まで、国際ロータリー第2780地区の横須賀ロータリークラブに在籍し、ロータリー活動に従事させていただきました。入会時はタウンニュースの横須賀支社長として入会させていただき、途中転職し転職先の専務取締役として在籍し、さらに転職しタウンニュースに戻り、川崎勤務になったため退職したものです。



横須賀ロータリークラブは、横浜ロータリークラブがスポンサークラブになり昭和26年に県内3番目のロータリークラブとして創立。これまで4人のガバナーを輩出しています。入会時は会員が105人ほどで、退会時はその年度でまたガバナーを出していたため、その前年度にかなり無理な会員増強を図ったので、120人でした。聞いたところだと現在は115人ほどだそうです。かなり無理なといったのは、住まいも仕事の本拠地も横須賀でない個人事業主の方を商圈に横須賀が入っているというだけで入会させてしまったので、一部会員から意義を唱える声が上がったものです。結局、そうした方2名ほどですが、例会のために週一回わざわざ横須賀まで来ることができず、1年ももたずに退会してしまいました。年齢的には、証券会社などの支店長なども結構いましたので、40代も割と多く、よくわかりませんが、なんとなく活動するには割とバランスがいい感じだと思いました。いずれにしても100人を超える大所帯で運営しております。私自身は入会当初はロータリーについては仕事上取材で知れた情報のみでしたので、会員が多いということについ



て特別何も感じておりませんが、時間が経ちIMや、地区大会・地区協などでグループ内や地区内の他クラブとの交

流なども経験するうちに、大クラブならではの他クラブとの違いを意識するようになりました。ちなみに横須賀市内には横須賀クラブ以外に3クラブがありますが、いずれも20から30人前後の会員数です。またもちろん地区内でも2番目に多いクラブが60人くらいと聞いていたので、横須賀の多さは群を抜いています。

では、本題の人数の多いクラブのメリット・デメリットですが、当然いろいろありますが、考え方によってはどちらも取れることがありますので、とりあえずは各場面ごとでの実際の運営についてお話ししたいと思います。

まず例会ですが、当然人数が多いので広い会場が必要になります。とはいえ広い会場と言っても横須賀市内で皆が集まりやすい場所となるとなかなかありません。数少ないところでホテルや結婚式場がありますが、当然使用料も高くなってしまいますので、そう簡単には使えません。実際のところは、商工会議所の会議室の一番広いところを使用していました。そこに長テーブルを合わせて8個の島を作り、そこに会員を振り分けて座ってもらい、前に三役と卓話者が座る席を設け、入口角にSAAと事務が座る配置です。しかし各テーブルは10から11人が定員だったので、もし全員が出席した場合は当然席が足りなくなります。ただ、いいのか悪いのか大体出席率は70%台がほとんどだったので、幸いにも毎回収まっていた。普段まず来られない方々がふらりと来ることがあったり、ビジター会員やゲストが多くいらっしやったりして、何とか席は賄えたものの、食事が足りず、一部会員だけメニューが変わってしまうということもありました。

そういう状況ですので、とにかく欠席の場合は事前に欠席連絡いただけるようになりつつお願いしておりましたが、そのあたりも全体数が多いだけになかなか難しいところがありました。

次にロータリークラブ活動の中で欠かせないものに寄付や募金などがありますが、そういった面という人数が多いですから、1人ひとりが少額でもそれなりの金額が集まります。寄付に関しては、ものによってはグループ内で調整するものもあり、他クラブからの要請で横須賀クラブだけ多く求められることもあったようです。ただ、年会費については、かつて重鎮の方が会長をやられたときに地区内で一番安くするとして、18万円でした。言葉どおり2780地区内で最安値だったのですが、数年前にロータリーの留学生OBや奨学生経験者等で作ったクラブが茅ヶ崎にできて、そちらが16か17

万円にしたため、現在は2番目に安いということです。

ところで、4つのテストのひとつに「好意と友情を深めるか」とあるように、ロータリークラブの魅力のひとつが「親睦」だと思えます。しかし、100人もいると新会員は名前と顔、ましてや事業所名まで覚えるのは本当に大変です。できるだけ早く覚えられるようにと、最初は親睦委員会に配属され、毎週の例会の受付を担当するのですが、最初はどなたなのか全然わからず、会員証の写真を見ながらチェックするのですが、「この写真いつとられました？」という感じも多く、特徴や名前が似ていたりすると本当に大変で、こちらが新会員ということで気を遣って自ら名乗ってくださる方はありがたいのですが、そうでない方は名前を聞くのも失礼かと本当にドタバタで、そっと先輩会員に聞くなどして何とかしのいだ覚えがあります。また、普通に考えて週1時間のうち30分は卓話で、さらに議事を行った残りの時間だけで100人と話すことなど不可能です。そこで、横須賀ロータリークラブ独自のものが「テーブルミーティング」というものがあります。これは、先ほどお話しした8つに分かれたテーブルでひとつのグループを作り親睦会を行うものです。各テーブルはSAAが3カ月に1回シャッフルしランダムに、例えば誕生日ごとや入会順などのテーマに基づきメンバーを決めます。結果、年4回テーブルで一緒にいるメンバーが代わるので、いろいろな人と話す機会が生まれ、またお酒も入るので普段なら話すのに勇気が必要な大先輩ともいつの間にか話ができて、特に独身で酒好きの自分にとっては、テーブルミーティング以外のお誘いもたくさん作ることができ、仕事でのおつきあいも深まるなど大変ありがたいシステムでした。おかげでいつの間にかほぼ全員のお顔や名前を覚えることもできました。ちなみにテーブルミーティングの会場は、会員のお店を順番に使用していて、これは本当に会員皆さんがいいシステムだと言っていました。大所帯クラブならではの工夫かと思えます。

人が多いためなりたくても会長になれるかはわかりません。ほとんどの方は会長だけでなく三役も遠慮したいとおっしゃっていますが、中には密かに会長を望んでいる方もいるようで…。ですがそういう方に限ってなかなか入れないといった話も耳に入ってきましたが、その辺の込み入った話になると我々の範ちゅうではないのでよくわかりません。

では委員会ですが、先ほどお話ししましたが、新会員はほとんどの人がまず親睦委員会と会報委員会の両方に入ります。これはどこのクラブも一緒かもしれませんが、まあ、まずロータリーを知り、会員を知るためですね。わたしは在籍中、クラブでは親睦と会報委員会ののち、広報委員会委員長、ローターアクト委員会委員長、プログラム委員長、SAA、また地区ではローターアクト委員会委員と地区副幹事を経験させていただきました。

ただやはりここでも人数が多いので、新会員以外は各委員会にほとんど専任になります。つまり一つの委員会だけとなります。これは私も地区協に参加するまでは気付かなかったのですが、他のクラブは委員会を

いくつか兼任しているということです。例えば私はこのときクラブの広報委員会の委員長として広報部門の地区協に出席したのですが、席上の話が会報の内容になり、横須賀クラブでは会報は会報委員会が担当し、別に会報委員長がいたので、「なぜ広報委員会で会報のことを話し合うんだろう？」と私自身は疑問に感じたのですが、その後の話を聞いて、「そうか他クラブは広報委員会と会報委員会を兼任して担当しているところが多いんだ」ということに気づきました。結果的に広報と会報に関しての話し合いが結構あり、戻って会報委員長に関係する部分の報告を行ったのですが、正直それであれば会報委員長も一緒に出席した方がよいのではないかと、なんか足並みが揃わない感じがしてクラブの会長にも話したのですが、結局広報委員長がすべて報告すればいいからということでその後も変わっていません。また、合わせて地区協の話し合いの中で、提案対しうちはそこまで人員がいらないから難しいといった意見が多々あり、会員の少ないところは大変なんだなということに気付いた場面ではありました。

また、卓話についてですが、プログラム委員長だったとき卓話者を選定するのが大変ではあったのですが、会員からの紹介も多くそのあたりは多岐にわたる分野の方の紹介があったので、かなり助かった面もあります。ちなみに私がプログラム委員長のときの出席率一番だった例会は、新春に行った地元出身の若手女性講師による講談でした。扇子でバシバシ机を叩くのでさすがに寝ている人はいませんでした。

大人数のクラブのメリットというのを一番感じたのは、地区大会のホストクラブになった時でした。他クラブがホストの際は、グループ内のクラブがサポートして準備を進めるのですが、横須賀クラブの場合は人員がたくさんいるので単独で準備することが可能で、話し合いを行う場も必要に応じてスムーズに設けることができ、各分担による動きもまとまりがあって非常に短時間でなおかつあまり不備も生じることなく開催できたということです。

最後に余談的な感じになりますが、私が感じたロータリーライフについて少し話させていただきたいと思えます。一言でいうと「入れていただいたよかった」ということです。個人的にもいろいろな方との人脈が築け、何よりもタウンニュースという仕事上も非常にありがたかったです。タウンニュースの三浦半島地区は私が横須賀支社長に就任したときに創刊となったので、当初は地元ではまったく認識されておらず、どういう新聞だと説明してもほとんど理解されない状態でした。それがたまたま横須賀版の発行が横須賀ロータリークラブの例会日の毎週金曜日だったこともあり、次第に例会上で「今朝見たよ」とか「今日載ってた誰々さん、俺の知り合いなんだよ」と声をかけられるようになり、次第に会員さんの仕事のPR広報の相談なども受けられるようになり、その結果喜ばれることも多くそういう話ができる場ができただけでも大変ありがたかったです。

また、横須賀というと小泉進次郎代議士のおひざ元ですが、私が赴任した当時はまだお父様の純一郎元総理が現役でした。仕事上接点を持ちたく当初事務所にアプロ

【プログラムの予定】

9月1日(木)	H精養軒	12:30~13:30
	会員お祝い 月間卓話：識字率向上月間 卓話者：徳安 久是 国際奉仕委員長	
9月8日(木)	H精養軒	12:30~13:30
昼例会に変更	G補佐を迎えてのクラブ協議会③	
9月15日(木)	H精養軒	12:30~13:30
	ガバナー公式訪問	
9月22日(木)	休会(祝日)	

【ポール・ハリス語録 5】

「心を強く、熱意を新たに、希望を高く持ちましょう。この精神が心にある限り、ロータリーは決して滅びません」(ロータリアン誌、1926年8月号)

【ロータリー・ミニミニ情報 No3】

ロータリアンは夢追人

1973年にアメリカのニュージャージーで生まれたステファン・クレーンという詩人がいます。娼婦を詠った退廃的な詩が多く、アメリカよりもむしろイギリスでその才能を以てはやされた詩人ですが、彼の作品の中に、I saw a manという詩があります。地平線を追いかけて 何処までも走りつづける男に出会った。これを見て心配になり、彼に声をかけた。「それは無駄なこと」「それは不可能なこと」、私は言った。「そんなことはない」、彼は叫んだ。そしてまた、走り続けた。1933年に、シカゴ大学社会科学調査委員会は、当時、会員減少や規範のゆるみからクラブ運営の危機を感じていたシカゴ・クラブの委託を受けて、「ROTARY?」という調査報告書をまとめました。調査委員会は

「ROTARY?」の巻頭にこの詩を引用しています。ロータリアンが夢を追いつづけて活動をしている様を、不可能なことに挑戦する無謀な集団と批判したかったのかも知れませんが、敢えて、不可能に挑戦するロータリアンに賛辞を贈ったのかも知れません。

私たちが描いている夢は、実現不可能な夢なのでしょうか。私は決してそうは思いません。ロータリアンは夢追い人の集団であり、クラブは夢を追う人に更に大きな夢を与えるホーム・グラウンドです。戦争のない恒久の平和を夢見て、世界中の国が理解を深めるために努力するロータリアン。貧困や飢餓や疾病をなくすことを夢見て、人道的16活動に奔走するロータリアン。次世代を担う子供たちにとって素晴らしい未来を残すことを夢見るロータリアン。それぞれ夢見る内容は異なっても、利他の心からでたボランティアに基づく善意の発想であることには間違いありません。そしてその夢を実現させる原動力は、親睦を前提としたクラブ・ライフから生まれ、その資金は、職業奉仕の実践によって、すべての事業の職業倫理を高めながら自分の事業を発展させていくことで得られるとするならば、まさに、ロータリアン冥利に尽きる話ではないでしょうか。夢が必ず実現することを信じて、ロータリー運動における、理念と実践の双方を大切に守りながら、生涯学習の場としてロータリー・ライフを楽しんでいきたいものです。

(参考文献：ロータリーの源流「炉辺談話」より)

一ちを囚ったのですが、当然のごとく本人に会えるどころか秘書すら面会できずに時間が過ぎました。そんなとき、あるロータリー会員の方とプライベートで飲みに行っていた折り、そんな話をしたところ、それなら秘書がよく行く地元では老舗のレストランバーで、ロータリーメンバーも行きつけの店があるからそこで飲もうと連れて行っていってもらったところ、そこにちょうど筆頭秘書さんが1人で飲んでいらして、すぐに紹介してもらいました。マスターも気さくな人ですぐに馴染めて今では私個人も行きつけの店になっています。その後すぐ進次郎代議士に代わりましたが、その秘書さんはほとんど毎日一日の最後にその店でちょっとひっかけてから帰宅するので、そこに飲みに行けば結構な頻度で会えるので今では取材依頼を含め何かあればいろいろと相談できるようにはなりました。実はその店はこじんまりした店なのですが、通常の飲食スペースから見えない奥にちょっとしたスペースがあり、進次郎代議士も大体何もなければ毎週末は地元に戻ってきているので、ときどきそこで身近な人たちと飲んでいることもあります。まあ、そんなこんなでロータリークラブに入ったおかげで代議士ともつながりができました。代議士はクラブのイベントには大体顔をだしてもらっており、当然ロータリークラブに関しても理解が深いかと思えます。

さらに、タウンニュースの横須賀版で成人式にあわせた特集記事を企画した際、今度は地元出身で活躍している先輩からお祝いの言葉がほしいということになり、芸能界で活躍しているお兄さんの小泉孝太郎さんに紙面に登場してほしいとなったときがありました。しかし、忙しい上にタウンニュースは基本的にギャラ等は出せないの、とても難しいだろうとあきらめかけていた時に、やはり横須賀ロータリークラブの会員で本業は歯医者さんながら、音楽が大好きで横須賀でつぶれた映画館を買取りそこにライブハウスをオープンさせた方がおり、その方と話をしているときにその企画の話をしたところ、「孝太郎の事務所の社長は昔から知っているからダメもとで俺が話してあげるよ」と言っていただき、まあそれでも難しいだろうと思っていたところ、後日孝太郎さんの事務所のマネージャーさんから連絡があり、「本人もぜひ地元のことなので協力したいと言っているのでOKです」との返事をもらい、結果孝太郎さんのインタビュー記事を掲載することができました。

これもロータリーの人脈のおかげでした。

つい先日にも本当に久しぶりに横須賀ロータリークラブの前年度会長だった方と、その前年度地区幹事を務めた方と飲んだのですが、今回私が川崎中原ロータリークラブさんと卓話の機会をいただき横須賀クラブのことを話すんですよと言ったところ、ぜひメイクアップにお邪魔したいと言っていたのですが、残念ながら二人とも仕事で叶わず、今度そういう機会があったらぜひお邪魔してみたいから言ってと言われました。